

■ 復帰30年、沖縄産業政策の総括

1) 工業誘致に限界

生産は国内分業から国際分業へ、大規模
工業化は沖縄になじまず

2) 特別制度ワークせず

制度の問題、活用ノウハウの不足

3) 観光産業が拡大

小規模、分散、多様に新産業が登場

■ 復帰30年、日本経済の背景と沖縄振興

1970年代の日本経済

1) 重化学工業の成熟化、ハイテク産業の台頭

沖縄への工業進出の限界(沖縄を飛び越えアジアへ進出)

1980年代: 経済のグローバル化の進展

2) 四全総の限界、香港・台湾の発展

沖縄は自立を模索

1990年代: 経済のグローバル化の新段階

3) 社会主義の解体・変質、市場経済の地球規模での拡大

日本の生産機能は国外流出、沖縄に新しい可能
(沖縄アッセンブル産業の可能性)

■ 産業政策の失敗

—1・2・3次振計—

＜本土型追従モデルからの脱退＞

段階(コーリンクラーク)的發展、フルセット型



特化、一点突破型發展